

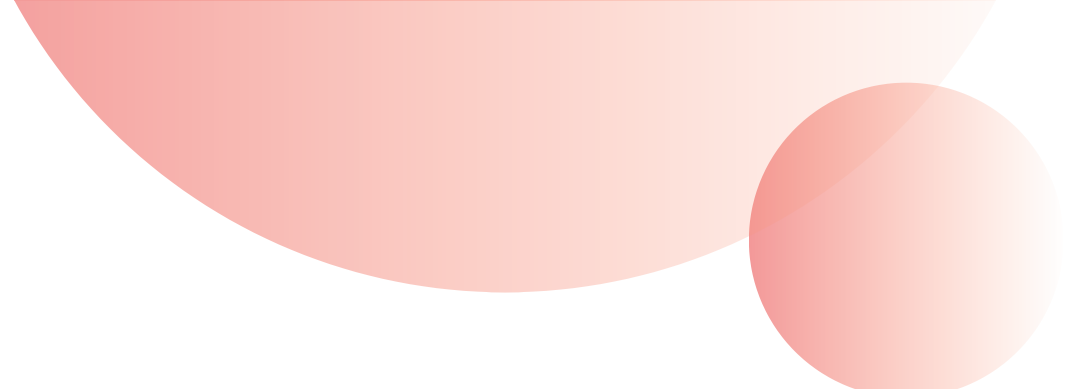


株式会社みんなのAI

飲食店様向け来客数予測AI —DineAi— のご紹介



会社概要



株式会社みんなのA Iについて

会社名 株式会社みんなのA I

設立 2025年3月

代表者 代表取締役 栗田 侑樹

住所 京都府京都市下京区
七条御所ノ内西町25-7

事業内容 主に**飲食店様向け**

- AI開発事業
- DX・AI導入コンサル
- 自社プロダクト開発

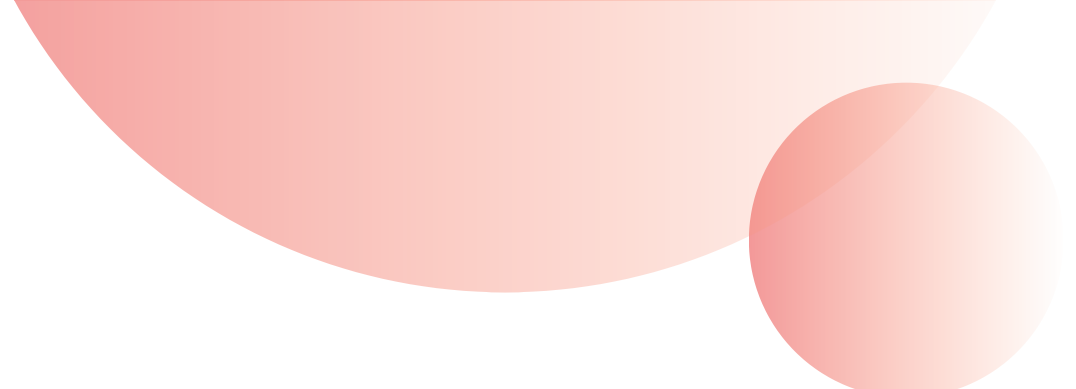
MISSION

AIを使って、みんなの
不可能を可能にする。



代表取締役
栗田 侑樹

NAIST 情報科学研究科修士課程を修了。
2019年に新卒で株式会社日立製作所に入社し、主に鉄道運行管理システムの新規機能開発業務に従事。
その後AI系ベンチャー企業を渡り歩き、AI開発業務に従事。





DineAi 開発背景

弊社の外食産業への思い

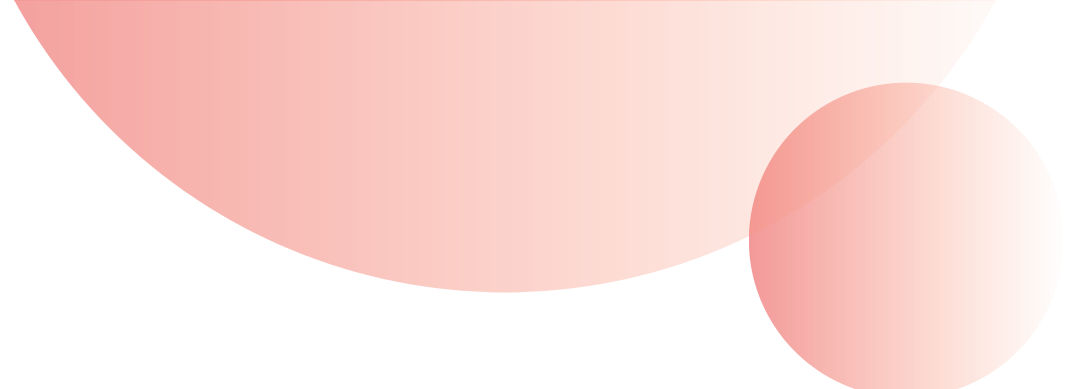
正直、また行きたいお店や常連になったお店は数店舗くらいしかない。そのお店に行きたいがために予定を空ける。

それ以外は飲み会などの予定が先に入って、それからお店を探す。 **要は飲み食いであればどこでもいい。**

弊社の外食産業への思い

また行きたいお店は
味で幸せにしてくれる。
友との対話で新しい発見をさせてくれる。
新たな人との繋がりを作ってくれる。
幸せな時間だったと思わせてくれる。

そのような「また行きたい」お店を増やしたい。





飲食店様が抱える課題

発注過多・過小やオペレーションの乱れ

- ・ **発注過多**によるフードロスで余剰な材料費が発生する。
→ 1店舗あたり **年間約100万円**(※1)
- ・ **過小発注**によるオペレーションの乱れが生じ、売り上げ機会損失が生じる。



これらの問題を解決することでコストカットや売り上げ向上に繋がり、**より良い食事体験を提供できる。**

発注過多・過小やオペレーションの乱れの 根本的原因

来客数予測や各メニューのズレが原因。(※1)

WHY? 来客数の予測を元にシフト作成や発注業務
を行っているから。



解決策

- DineAi -の導入

DineAi（来客数予測AI）の導入

店舗への来客数を高精度で予測し、スタッフ配置や在庫管理を最適化するAIアプリです。

- 天候や曜日など多様な要因を考慮し、高精度で来客数を予測
- 適切なスタッフシフトや在庫準備が可能になり、業務効率と顧客満足度を向上
- 企画の壁打ちから運用後の保守サポートまでワンストップで支援



DineAiでできること

1.在庫管理の最適化

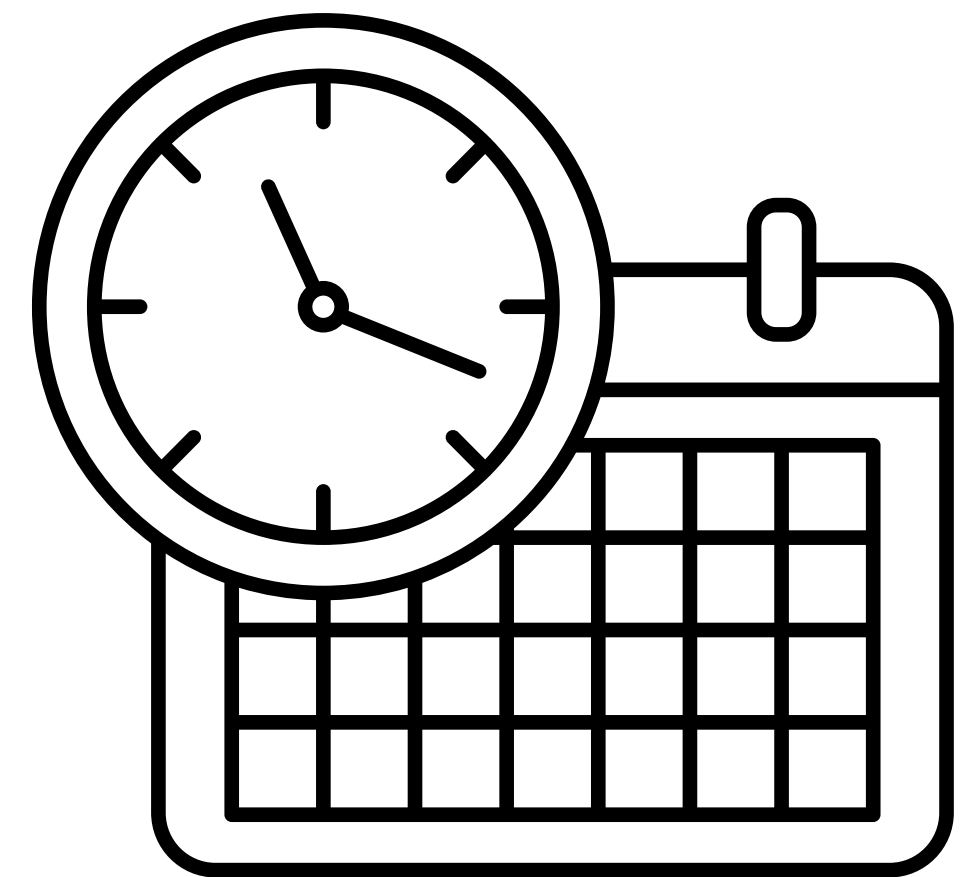
- **食材の発注量調整**：来客数の予測に基づき、必要な食材の量を計算できる。これにより**商品在庫の過不足を減らす**ことができる。
- **廃棄ロスの削減**：過剰な食材在庫が減ること、**賞味期限切れなどによる廃棄を抑えられる**。



DineAiでできること

2. 人件費の削減

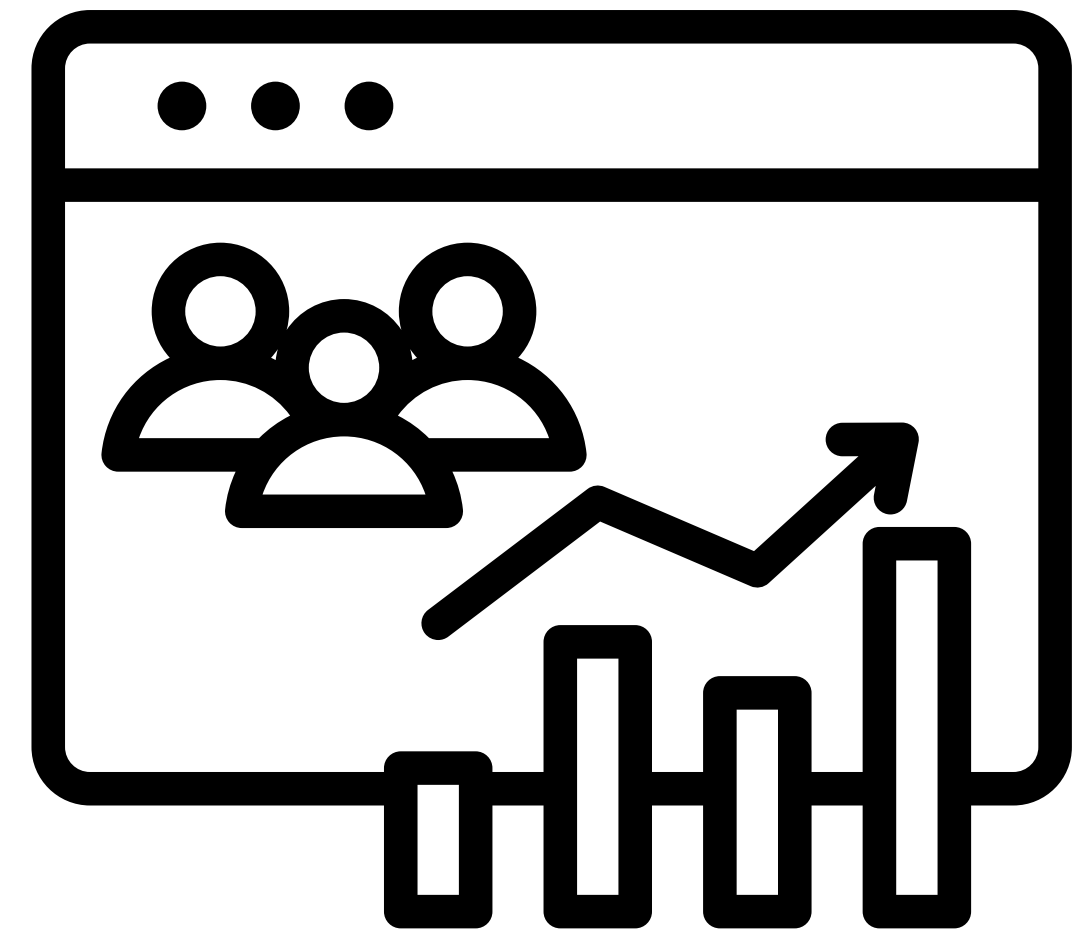
- **シフト最適化**：予測データを活用して、ピーク日と閑散日に合わせた労働力の配置が可能になる。これにより**売り上げ機会の損失を防ぎ**、さらに**過剰な人件費を削減できる**。

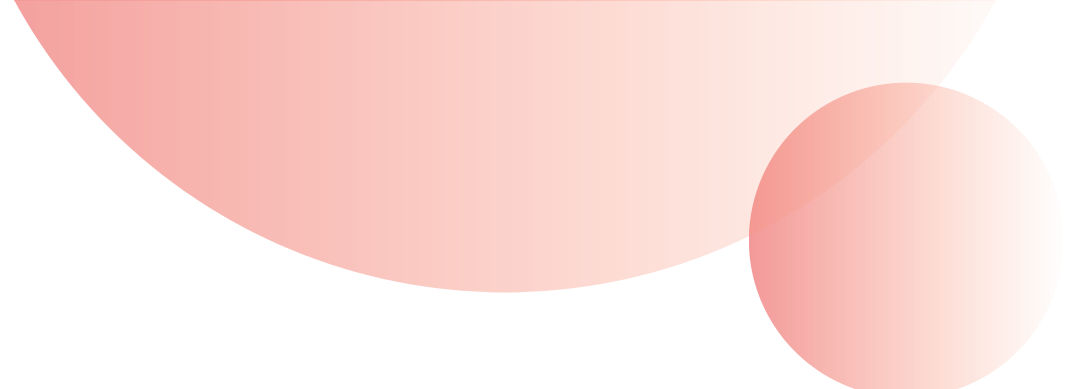


DineAiでできること

3. 機会損失の削減

- **オペレーションの最適化**：予測データを活用して、その日毎に合わせた食材の仕入れやシフト配置を行うことにより、オペレーションの乱れを起因とする**売り上げ機会損失を削減できる**。







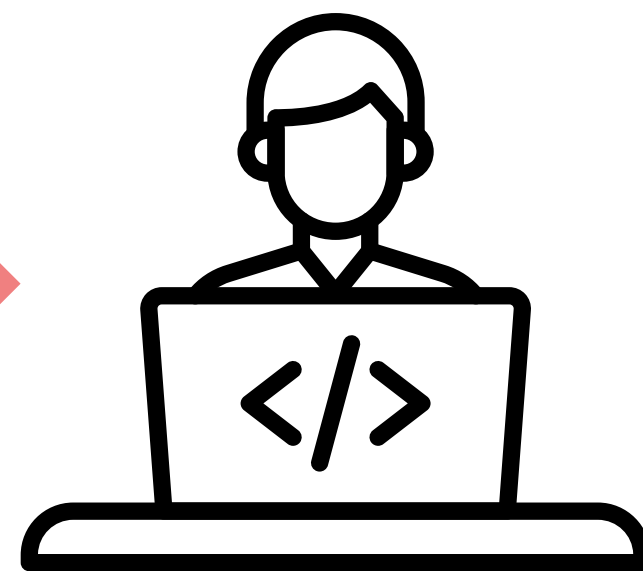
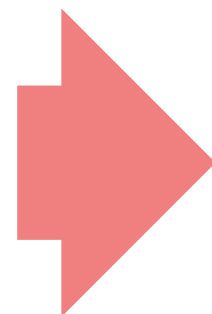
導入までの流れ

導入までの流れ

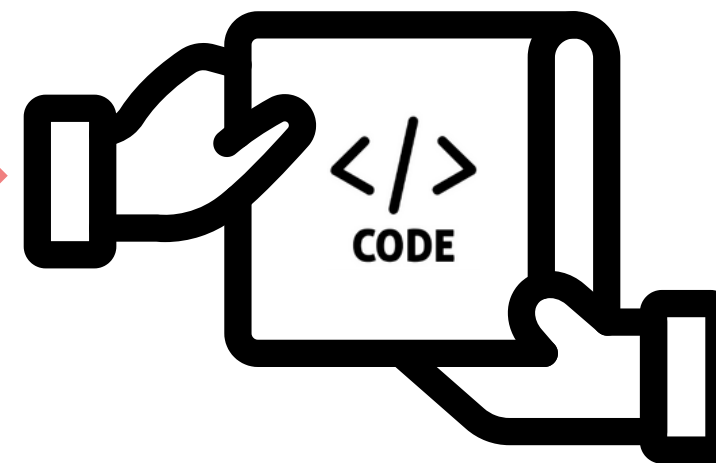
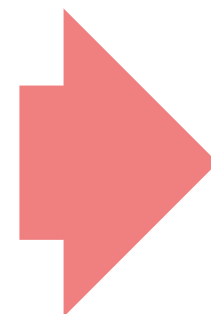
ニーズの聞き取りからカスタマイズ、納品後の運用まで、徹底的に寄り添いサポートします。



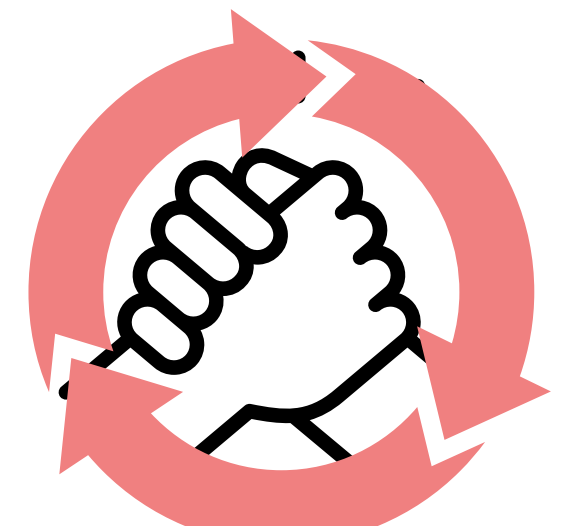
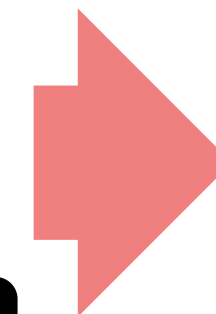
ニーズ聞き取り



カスタマイズ



納品



納品後も継続したサポート



	年契約プラン ※99996円/年後一括払い	月契約プラン
月額料金	8,333円/月 年間約19700円お得	9980円/月
2週間先の 来客数予測	2回/月	2回/月
1週間先の 来客数予測	4回/月	4回/月
初期導入費用	100,000円	100,000円

お問い合わせ

担当者: 栗田 侑樹

E-mail: kurita.yuki.nr@minna-no-ai.jp

HP: <https://minna-no-ai.jp/dine-ai>

Tell: 080-9296-9652



株式会社みんなのAI